



中丹高次脳機能障害者と家族の会

“さくらの会”便り

No119号 2019 4 1

発行責任者
会 長 田中 明
編集責任者
事務局長 上原 栄
Tel.0773-22-7859

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

新春交流会

考えさせられた将来設計

後半は楽しい音楽で

平成31年2月17日中丹勤労者福祉会館にて、新春交流会（23名が参加）を開催しました。

午前中は、10時30分から支援会員野村俊彰さんの～「親なき後、介護者なき後」に備えるために～と題して講演会が行われ、身近な問題として分かりやすく説明がありました。



講演会には、北部リハセンから2名、セラピスト1名の参加もありました。

北部リハセンからは、3月11日に開催され

る当事者・家族の交流会の案内もありました。

午後は、「歌って・動いて・元気もりもり」と題して、音楽療法士土手 緑様、薮井みどり様の指導のもと、「たき火」「ごんべさんの赤ちゃん」「汽車ぽっぽ」「雪」などの曲を、手作りのマラカス、トーン、ハンドベル等を用いて、歌と動作で脳にいっぱい刺激を与えました。

当事者・家族の交流会は、抹茶、コーヒー

と生菓子を「やまぼうし」の皆さんに提供して頂きながら、交流を深めました。

参加者の声

さくらの会の新春交流会に初めて参加しました。

午前中の講演「親なき後、介護者なき後に備えるためには」は大変難しく、理解力が落ている私には、半分程しか理解ができませんでした。

午後の音楽を使った交流会では、歌と動作が大変でしたが楽しかった。

交流会の茶話会も更に楽しく、山ぼうしの皆さんのお陰で、大変楽しい時間で良かった。（T・A）



みんなで合奏しました



40名が参加

障害者と家族の集い

平成31年3月11日午後、京都府中丹東保健所の講堂で平成30年度 京都府北部 高次脳機能障害者と家族の集い～高次脳機能障害を理解し、支え合うために～が行なわれ40名（当事者10名、家族13名、支援者17名）が参加しました。



勉強会「高次脳機能障害の理解と対応について」では、武澤信夫講師（京都府リハビリテーション支援センター長）から分かりやすく説明がありました。

続いて家族の経験談として、さくらの会 高橋宏さんから報告がありました。

関係機関からの報告では、①さくらの会から、上原事務局長がさくらの会の概要を報告。



②舞鶴市身体障害者福祉センターの古澤静江保健師から、高次脳機能障害者等リハビリテーション「ゴーヤの会」を報告されました。

休憩をはさんで、交流会。テーマ「高次脳機能障害の理解と対応について」当事者2テーブル、家族1テーブルに分かれて交流を行いました。



当事者・家族の交流会の時間が少なく十分な交流ができませんでした。なお、北部リハセンの方から来年度の早い時期に継続して行いたいとの話がありました。

定期総会



さくらの会は、第15回定期総会を下記のとおり開催しますので、多くの会員の方にご出席いただきますようよろしくお願いします。

（日時）平成31年4月21日

（日）10時～15時

（会場）綾部市保健福祉センター
2階会議室

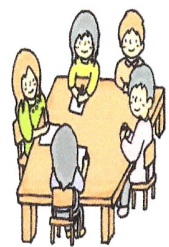
詳細は、別紙のとおりです。

グループ訓練研究 4月から開始

グループ訓練研究は、応募者5名。4月14日（日）9時～16時市立福知山市民病院にて個別面談・評価からスタートします。

7月から9月までのグループ訓練と12月の個別面談・評価の予定です。

さくらの会は、スタッフとして支援していきます。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いします。



編集後記

▼春です。ね。気分を一新して楽しくやっていきます。たいと思っております。

▼一人にいると、あまり良いことは浮かんできません。皆と話しているとなんてきます。

▼新春交流会で全員で合奏した時は、心から優しさ嬉しさが湧いてきました。

▼これから、みんなと一緒にやっていきたいです。【F】